

事業概要説明シート

事務事業番号 31077

事務事業名	FM放送活用事業										
事業開始年度	平成9年度				担当部署		政策企画部広報課				

根拠法令	決裁										
実施方法	☐ 直営 ☐ 委託又は指定管理(委託先：)										
	☒ その他 (FMひらかたに一部委託。市政情報番組の放送委託)										
目的 (何のために)	地域コミュニティFMの特性を生かし、平常時は市政やイベント、地域情報などを市民に幅広く提供しFMへの親しみを持ってもらう。また、災害時には貴重な地域情報伝達手段として注意喚起など迅速な情報発信を行う。										
対象 (誰・何を対象に)	市民										
事業内容	平常時は市の提供番組としてイベント情報や教育、防災の取組、市民活動の紹介など1日あたり2時間30分の番組制作・放送委託を行う。また災害や緊急時は「緊急放送に関する協定」に基づき災害状況や交通情報などを割り込み放送により注意喚起を行う。										
類似事業	民間のFM放送が類似事業と言えるが、莫大な放送料がかかり現実的ではない。										
事業の必要性	地域コミュニティFM「FMひらかた」は、阪神・淡路大震災を教訓に災害時の貴重な情報提供手段として開局したものであり、日常的な市政情報の提供だけでなく、緊急時には「緊急放送に関する協定」により優先して市の対策本部による臨時放送も可能であること、また万が一重大災害が発生してしまった場合は、避難所情報など大災害後の地域ならではの情報提供などに有効な手段であることから、災害時の市民の情報取得手段の一つとして必要性は高い。										
コスト											
	H22年度決算				H23年度決算				H24年度当初予算		
		従事職員数	概算人件費		従事職員数	概算人件費		従事職員数	概算人件費		
正職員	0.30	人	2,434千円		0.20	人	1,618千円	0.20	人	1,600千円	
再任用職員		人	0千円		人	0千円		人	0千円		
非常勤職員等		人	千円		人	千円		人	千円		
人件費計(A)	2,434千円				1,618千円			1,600千円			
直接経費(B)	67,300千円				66,600千円			65,934千円			
総事業費(A+B)	69,734千円				68,218千円			67,534千円			

財源内訳											
	H22年度決算				H23年度決算				H24年度当初予算		
国庫支出金			千円			千円				千円	
府支出金			千円			千円				千円	
受益者負担 (使用料等)			千円			千円				千円	
その他			千円			千円				千円	
一般財源	69,734千円				68,218千円			67,534千円			

平成23年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容								金 額	
	放送委託料								66,600 千円	
									千円	
									千円	

事務事業名		FM放送活用事業			
事業開始年度	平成9年度	担当部署	政策企画部広報課		
活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)
	① 放送時間数	時間	987	959	942
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 事業費／放送時間数	円	68,186	69,447	69,994
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	地域コミュニティFM「FMひらかた」は、阪神・淡路大震災を教訓に災害時の貴重な情報提供手段として開局したものであり、日常的な市政情報の提供だけでなく、緊急時には「緊急放送に関する協定」により優先して市の対策本部による臨時放送も可能であること、また万が一重大災害が発生してしまった場合は、避難所情報など大災害後の地域ならではの情報提供などに有効な手段であることから、災害時の市民の情報取得手段の一つとして必要性は高い。				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	本市と同様に第3セクターでコミュニティFMがある市町村は、大阪府内で43市町村中7市。府内全体の調査データは無いが、一部本市で調査したデータによると、放送時間数、年間予算額などはまちまちだが、他市と比較して1時間当たりの単価は守口市(門真市)・箕面市よりも安くなっている。ただし、売上高に占める市からの支出割合は守口市(門真市)・箕面市よりも高い。				
特記事項	現在の問題点としては、市提供番組および売上高に占める市の支出の割合が大きく、FM局としての自立性が低いことや、夜間の集中豪雨などの災害時に、より迅速かつ的確に情報発信するための対応策が確立できていないことがあげられる。				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	市提供番組部分については、魅力的な番組作りに努め、FMの聴取率のアップに努めるとともに委託内容を見直す。また、FMひらかたが経営努力によりスポンサーや広告増による収入を増やしてより自立性が高くなるように助言していく。			
一次評価結果	・運営方法の効率化について検討の余地があるのでは ・放送委託の時間数について検討が必要では				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	運営方法の効率化および放送委託の時間数については、市提供番組および売上高に占める市の支出の割合を減らし、また、FMひらかたが経営努力によりスポンサーや広告増による収入を増やしてより自立性が高くなるように助言していく。 また、夜間の集中豪雨などの災害時に、より迅速かつ的確に情報発信ができるよう、対応策を確立していく。			